

2025 年度 IFA 審判員強化研修会兼インストラクター研修会

(公財)茨城県サッカー協会 審判委員会

鹿嶋サッカーフェスティバル 2025（ユースの部）
のご協力のもと、IFA 審判員強化研修会兼インストラクター研修会を開催しました。

毎年行われているこの研修会は、3 級～1 級まで
様々なカテゴリーの、たくさんの審判員とインストラクターが参加して行われる、茨城県の主要な
審判研修会のひとつとなっています。

今年の研修会の主なトピックスとしては、4 点あり
ました。

- ・千葉県と栃木県の審判員や審判インストラクターを招待しての交流
- ・事前の熱中症対策講習を実施
- ・座学を日中にも実施
- ・大会との調整により、新競技規則を適用



【研修会期間】 2025 年 8 月 11 日(月)～12 日(火)

(大会期間) 2025 年 8 月 11 日(月)～13 日(水)

【参加者数】 審判員：62 名 インストラクター：36 名

【試合】 8/11（予選リーグ：24 試合）

8/12（予選リーグ：12 試合、順位決定戦：12 試合）

8/13（順位決定戦、決勝戦：13 試合）

【研修内容】 審判員：

- ・試合の実践



- ・他の審判員の観戦研修

- ・アセッサーと試合の振り返り



- ・座学講習(午前 or 午後, 夜)



【研修内容】インストラクター:

- ・試合のアセスメント(レポート作成)



- ・観戦研修(評価のすり合わせ)

- ・審判員と試合の振り返り



- ・座学講習(夜)



【座学講習】8/11

- ・9:30～午前の部 @鹿島学園高校
 - ・ハンドの反則(相田審判インストラクター)
 - ・オフサイド(大内審判インストラクター)
 - ・ポジショニング(藤ヶ崎審判インストラクター)
- ・15:00～午後の部 @鹿島学園高校
 - ・SPA DOGS0(西念審判インストラクター)
 - ・オフサイド(飯野審判インストラクター)
 - ・ポジショニング(柿沼審判インストラクター)
- ・19:00～ @鹿嶋市商工会館
 - ・JFA の取り組みについて(宮島 JFA 審判マネジャー)



【参加審判員より研修会の感想】

例年に比べて涼しく、とても過ごしやすい3日間でした。

今年は、千葉県と栃木県の審判員にも参加いただき、

今後の交流も含め、とても良い研修会となりました。

実技では、2級昇級審査対象となる試合の副審を務め、
どうしたらパフォーマンスに集中させることが出来るのか
を考え、良いサポートが出来るように心掛けました。

主審も2試合担当し、自分のポジショニングの課題について

考えることができ、それをパフォーマンスできたこと、気づきがあったことは大いに収穫できたと思います。

宮島氏からの講義では、審判員の育成や普及についてのお話を頂きました。普及については、4級審判員の更新率を上げること、3級審判員を増やすこと、そのためには私たちに何が出来るのか。そして、カテゴリー審判員はどう取り組んでいくか。育成については、若いうちからどんどん上に上がっていかないといけない、3大会連続等のワールドカップ審判員の輩出、レフェリーアカデミーについてのお話、そして茨城県はここ何十年川俣氏以降1級審判員の輩出なし、1級候補もなし。という現実があることをお話していただきました。その中で我々若手審判員がどんどんチャレンジをし、危機感・緊張感をもって普段からの活動に取り組んでいかなければならないと感じました。

今シーズンも残り半分となり、昇降格争いであったり、トーナメント戦もあるので、また一つ気を引き締めて残りのシーズン頑張っていきたいと思います。

《決勝担当審判員》



【最後に】

多くの方々のご理解、ご協力のもと、無事に大会の開催並びに研修会が開催出来ましたこと、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

また、千葉県からは堀川委員長をはじめ4名の審判員の方々、栃木県からは羽石委員長と2名の審判員の方々にご参加いただきました。改めて感謝申し上げます。

最近の猛暑の環境は厳しく、いくらトレーニングを積んだ審判員であっても熱中症になる可能性があります。できるだけそのリスクを減らすために、今年は、研修前日の夜にWEBで熱中症対策の講義を実施しました。熱中症になる審判員を出さずに研修会を終えられたことは、我々としても非常に良かったことです。

今回の参加者の中には、中学生レフェリーもいて、若さあふれるフレッシュな雰囲気を与えてくれました。そして研修会では、すべての審判員が、担当した試合のレフェリングはもちろんです、その他の時間に他の審判員と話をしたり、座学では活発にディスカッションしたりするなど、積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。

また、インストラクターの方々も、審判員のために振り返りを行ったり、試合評価のすり合わせを行い、基準の統一をはかったりする活動を行うことができました。

これをこれからの審判活動に活かし、チーム茨城として、審判員、審判インストラクターのレベルアップに取り組んでいきたいと思います。

(文責：柿沼亨)